

2024年度第7回京都競馬特別レース名解説

<第1日>

○ さざんか賞

さざんかは、ツバキ科の常緑小高木。九州・四国の山地に自生する。晩秋に白い花をつけ、散るときは花びらが一枚ずつ落ちる。園芸・観賞用としても栽培され、赤花、八重咲きなどの品種がある。花言葉は「ひたむきな愛」「謙遜」。

○ ウインズ姫路開設20周年記念 姫路ステークス

本競走は、ウインズ姫路開設20周年を記念して実施される。

姫路（ひめじ）は、兵庫県南西部にある市。播磨平野の中央に位置し、播磨灘に臨む。古くから山陽道と山陰道を結ぶ陸海交通の要衝として栄えた。市内にある国宝姫路城は、シラサギが羽を広げたような優美な姿から「白鷺城」の愛称で親しまれており、1993年に法隆寺とともに日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された。

なお、同市にはJRAの場外勝馬投票券発売所であるウインズ姫路がある。

○ チャレンジカップ（GⅢ）

本競走は、1950年に創設された重賞競走。当初は2400mで実施されていたが、1952年に2000mに変更された。2012年に実施時期を9月から12月に移設するとともに距離も1800mに変更、2017年には再び2000mに延伸された。1953年以降、『朝日チャレンジカップ』として実施されてきたが、2014年から再び『チャレンジカップ』に名を戻して実施されている。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において2000mで実施される。

<第2日>

○ 聚楽第特別

聚楽第（じゅらくだい）は、豊臣秀吉が平安京内裏の跡地に造営した邸宅。「聚楽」の由来は、「長生不老の楽を聚（あつ）むる」とされている。1587年に完成した聚楽第は豊臣秀吉の威勢を示すかのように、この上ない豪華壮麗さを誇り、完成後には後陽成天皇の行幸を仰いだ。大徳寺唐門、西本願寺飛雲閣はその遺構と伝えられている。

○ 嵯峨野ステーキス

嵯峨野（さかの）は、京都市右京区の桂川北東岸一帯の地域。景観が良好で、平安貴族の行楽地として多くの寺社、別荘が建立された。嵯峨天皇の離宮を前身とする大覚寺、平家物語に記されている祇王寺、後醍醐天皇の冥福を祈って足利尊氏が建立した天龍寺、俳人・向井去来が別荘として使っていた落柿舎など、名所や旧跡が多い。

○ ギャラクシーステーキス

ギャラクシー (Galaxy) は、「銀河」「天の川」を意味する英語。また、天文学においては、天の川に象徴される我々の銀河系と同じ形態の恒星の大集団の意味も持ち、一般に直径数千光年から数十万光年の大きさの空間内に、100 万から 1 兆にも及ぶ恒星と星間物質が密集しているものを指す。

<第3日>

○ エリカ賞

エリカ (Erica) は、ツツジ科エリカ属の植物の総称。常緑の低木で、南アフリカを中心に分布し、世界に 700 種類以上の種があると言われる。葉は小形で細く、スギの葉状で、色は淡紅色や黄色、緑など様々である。花言葉は「博愛」「孤独」。

○ 花見小路特別

花見小路（はなみこうじ）は、京都市東山区北西部にある通りの呼称。北は三条通りから南は安井北門通りまでの小路のことを言う。祇園歓楽街の中心を貫き、四条通より南側の沿道は石畳で舗装され、「都をどり」の行われる歌舞練場やお茶屋、町家などが立ち並ぶ。

なお、同通り沿いには JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ京都がある。

○ リゲルステーキス (L)

リゲル (Rigel) は、オリオン座のベータ星。表面温度は約 12,000°C、直径は太陽の約 70 倍の青色超巨星。カペラ・アルデバラン・シリウス・プロキオン・ポルックスと共に「冬のダイヤモンド」を構成する。名は、アラビア語で「巨人の左足」を意味する「リジル・アル・ジャウザ (Rijil al Jauzah)」に由来する。

<第4日>

○ オリオンステークス

オリオン（Orion）は、南天の赤道にある冬を代表する星座。中央に並ぶ三つ星がトレードマークで、大きく明るい星が多いことから容易に見つけることができる。星座を形成するベテルギウスとリゲルはともに一等星。名は、ギリシャ神話に登場する巨人に由来する。

○ JRAウルトラプレミアム ブエナビスタカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『阪神ジュベナイルフィリーズ』の歴代優勝馬の中から選ばれたブエナビスタ号の名を冠した競走。

ブエナビスタ号は、2008年（第60回）の『阪神ジュベナイルフィリーズ』優勝馬。同レースでは、2馬身半差をつけ優勝し、母ビワハイジ号との母娘制覇を達成した。翌2009年には、『桜花賞』『優駿牝馬（オークス）』を連勝して春の牝馬2冠を達成。古馬となっても、『ヴィクトリアマイル』『天皇賞（秋）』『ジャパンカップ』を優勝し、GI・JpnI 6勝という輝かしい実績を残した。これらの功績から、2008年から4年連続でJRA賞を受賞し、2010年にはJRA賞年度代表馬に選定された。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

○ 農林水産省賞典阪神ジュベナイルフィリーズ（GI）

本競走は、1949年に創設され、1990年まで『阪神3歳ステークス』の名称で実施されていた重賞競走。当初は1200mで行われていたが、1960年に1400mに延伸され、1962年以降は現行の1600mで実施されている。1991年には牝馬限定競走となり、2歳（旧表記3歳）牝馬のチャンピオン決定戦となった。また、2001年からは『阪神ジュベナイルフィリーズ』と名称が変更された。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において1600mで実施される。

ジュベナイル（Juvenile）は、「少年」「少女」を意味する英語。フィリー（Filly）は、牝馬、特に4歳までの牝馬のことを指す。また、この言葉には「社交界にデビューする少女（女性）」という意味も含まれている。

○ 鹿ヶ谷特別

鹿ヶ谷（ししがたに）は、京都市左京区にある地名。平家一門に反発した後白河院近臣らが東山鹿ヶ谷の僧俊寛の山荘で計画した平氏打倒陰謀事件である「鹿ヶ谷の陰謀」で知られる。

<第5日>

○ 深草特別

深草（ふかくさ）は、京都市伏見区北部の地名。深草十二帝陵・仁明天皇陵がある。平安時代は別荘地として有名であった。江戸時代には瓦や伏見人形を産する窯業も盛んに行われていた。

○ 出町特別

出町（でまち）は、京都市内の地名。榊形通・河原町今出川・寺町今出川の一带を指す。古くから交通の要衝であり、若狭から鯖を運んだ「鯖街道」の終着点としても知られている。現在も、出町商店街は京都でも有数の規模を誇る商店街として賑わい、近くには高野川・賀茂川の合流する三角州「鴨川デルタ」があり、比叡山や大文字山が望める。

○ タンザナイトステークス

タンザナイト（Tanzanite）は、青や青紫色を有する多色性の宝石で、一般的にタンザニアで採掘されたゾイサイト（灰簾石）を指す。12月の誕生石のひとつ。

<第6日>

○ 小倉山特別

小倉山（おぐらやま）は、京都市右京区にある標高 296m の山。同山に位置する二尊院は紅葉の名所として知られる。馬が駆け抜けられるほど広いことから「紅葉の馬場」と称される参道からは、小倉山のモミジと参道沿いのカエデを楽しむことができる。

○ JRAウルトラプレミアム サリオスカップ

本競走は、JRA70周年「メモリアルヒーロー」ファン投票において、『朝日杯フューチュリティステークス』の歴代優勝馬の中から選ばれたサリオス号の名を冠した競走。

サリオス号は、2019年（第71回）の『朝日杯フューチュリティステークス』優勝馬。同レースでは、レースレコードで優勝し、無傷の3連勝でGⅠ勝利を達成した。その後、同じく無敗で『ホープフルステークス』を制し、後にクラシック三冠馬となるコントレイル号との対決となった『皐月賞』『東京優駿（日本ダービー）』では、いずれも2着に敗れたものの、世代での強さをみせた。

なお、本競走は、払戻額を大幅に増加させる「JRAウルトラプレミアム」の対象競走。

○ 朝日杯フューチュリティステークス（G I）

本競走は、2歳（旧表記3歳）馬によるチャンピオン決定戦として1949年に創設された『朝日盃3歳ステークス』を前身とする重賞競走。1991年に牡・せん馬限定となったが、2004年には牡・牝馬限定となった。実施距離は、創設時の1100mから1959年に1200mに延伸され、1962年以降は現行の1600mに定着している。また、2014年より中山競馬場から阪神競馬場に舞台を移して実施されている。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において1600mで実施される。

フューチュリティ（Futurity）は、「未来」「将来」を意味する英語。

朝日新聞社は、東京など全国に4ヶ所の本社がある新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 東山ステークス

東山（ひがしやま）は、京都市の区名。また同市街東側の山地。一般に北の比叡山から、南の稲荷山までを指し、東山三十六峰と呼ばれる。山麓には銀閣寺・南禅寺・知恩院・八坂神社・清水寺など、京都の代表的な史跡旧跡が集まり、京都観光の中心地となっている。

<第7日>

○ 万両賞

万両（まんりょう）は、サクラソウ科ヤブコウジ属の常緑小低木。葉は長楕円形で厚く光沢があり、夏に白色の小花を付ける。果実は球形で、10月頃から2月頃まで長く赤い実をつけていることから、正月用の縁起木として重宝される。花言葉は「寿（ことほぎ）」「富」。

○ 御陵ステークス

御陵（みささぎ）は、京都市山科区の地名。本来は、天皇・皇后の墓の意。同地には、天智天皇の陵がある。天智天皇は在位年数こそ4年と短いですが、大化の改新によって蘇我入鹿を倒して実質的な政権の座につき、公地公民制の導入や律令体制の形成に大きな業績を残した。

○ 阪神カップ（G II）

本競走は、短距離競走体系のさらなる充実を図るため、2006年に創設された重賞競走。スプリンターとマイラー双方が一堂に会する競走として、1400mで実施される。G I競走を除く重賞競走の中で、定量戦の競走は本競走と札幌記念のみであり、例年多くの実績馬が出走する競走でもある。本年は阪神競馬場スタンドリフレッシュ工事に伴い、京都競馬場において1400mで実施される。

<第8日>

○ クリスマスエルフ賞

クリスマスエルフ (Christmas elf) は、サンタクロースの助手として、プレゼント用の玩具を作ったり、トナカイの世話をしたりするとされている妖精。

○ サンタクロースステークス

サンタクロース (Santa Claus) は、クリスマスの前夜、子供達にプレゼントを届けるといふ伝説上の人物。名は、小アジア (トルコ) のリュキアの首都ミュラの司教聖ニコラウズの名が訛ってアメリカに伝えられたことに由来する。ミュラでは祝日の前日に贈り物を交換する習慣があり、これがニューヨークに移住したオランダ系清教徒によって伝えられ、クリスマスプレゼントの習慣となった。

○ りんくうステークス

りんくう (臨空) は、空港のそばにあることを指す言葉。大阪府泉佐野市にある「りんくうタウン」は、関西国際空港の対岸に位置し、浜辺沿いに広がる関西最大級の公園施設や大型ショッピングセンターを有する大阪府の副都心のひとつとして発展している。

なお、同地域には JRA の場外勝馬投票券発売所であるライトウインズりんくうタウンがある。

○ ジングルベル賞

ジングルベル (Jingle Bells) は、クリスマスに世界中で歌われている歌。もとはそりで競走する遊びを歌った歌であるが、クリスマスにもよく歌われ世界中に広まった。

<第9日>

○ 春待月賞

春待月 (はるまちづき) は、12月の異称。本競走は、来たる春への希望を込めて名付けられた。

○ フォーチュンカップ

フォーチュン (Fortune) は、「幸運」「富」を意味する英語。ローマ神話の運命の女神フォルトゥーナが語源とされる。

○ ベテルギウスステークス (L)

ベテルギウス (Betelgeuse) は、オリオン座のアルファ星。赤く輝く恒星のひとつで赤色超巨星に分類される。プロキオン、シリウスとともに「冬の大三角形」を構成する。

○ カウントダウンステークス

カウントダウン (Countdown) は、「秒読み」を意味する英語。大晦日の年越しの時間帯になると、世界各地でカウントダウンイベントが行われる。本競走は、今年度の中央競馬の終わりを告げるカウントダウンをイメージして名付けられた。